

仮想アース Crystal E の導入(8)(HP 収載)

—Garad401 再生系(3)—

1. 始めに

前報(7)に引き続き、仮想アース Crystal E の導入について検討していきます。

2. Crystal E の試聴方法

前報(4)では、アナログ再生系としては Garad401 についてフォノイコライザーを 47 研 4718 とした場合について Crystal E の効果を調べました。

さらに、前報(5)では、フォノイコライザーを Maraz7 タイププリとした場合について Crystal E の効果を調べました。

今回は、Brooklyn DAC+のフォノイコライザー機能を利用することとし、MC ポジションへの入力とします。

Garad401→My Sonic Stage 1030→Brooklyn DAC+(MC 入力)→TruPhase
カートリッジは ZYX R100-EX、シェルは Ortofon、アームは FR64S、フォノステージは Brooklyn DAC+への MC ポジションの入力です。

Garad401 再生系でアースを必要とするのは下記です。

Garad401

My Sonic Stage 1030

Brooklyn DAC+

これを前報(7)の第 2 グループのサブグループ A とサブグループ B に加えてサブグループ C とします。

上記のアースを RE-9 から追加購入の Crystal E にアースケーブルを繋ぎ替えます。なお、アースケーブルは前報(7)のとおり、Western の単線から、Crystal E の Y-Y ケーブルに代わっています。

音源は下記を使用します。

ドイツグラモフォン MG8333/4

ニコロ・パガニーニ 24 の奇想曲

サルヴァトーレ・アッカード (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーベン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウーンフィル

3. Crystal E の試聴結果

24 の奇想曲と選帝侯のソナタとワルキューレのいずれも、Brooklyn DAC+で位相を反転させて聴いていきます。

Brooklyn DAC+を MC 入力のフォノイコライザーとして使うことは、ZANDEN Model 120 導入前のことでしたが、RE-9 をアースとして接続すると懐かしい音が戻ってきました。なお、Brooklyn DAC+のアースを切り離しますとハムノイズを引きます。

アースを Crystal E に繋ぎ替えますと、24 の奇想曲は、擦弦音がクリアーになり、ボウイングの様が分かりやすくなります。

選帝侯のソナタは、さほど大きな変化ではありませんが、音が緻密になり、打鍵の音に芯が通います。

ワルキューレは、解像度が向上し、楽器や歌手の声の質感が明瞭になります。

4. まとめ

Garad401、My Sonic Stage 1030、Brooklyn DAC+(MC 入力)の再生系において、さほど顕著ではありませんが、Crystal E の効果を確かに認めました。

以上